

# 令和4年度 FD・SD 研修会 報告書



## ユマニテク短期大学

### 第1回

◆日程:令和4年4月1日(金)15時30分~16時30分

◆参加者:ユマニテク短期大学非常勤講師(13名)及び短大教職員(22名)

◆開催方法:対面・オンライン・オンデマンド

◆研修内容

講師:伊藤喬治氏(ユマニテク短期大学講師)

内容:「オンライン/LMSの活用」及び「グレクサの活用」

その他:令和4年度学事日程説明、授業方針説明、非常勤講師ハンドブック、グレクサ活用方法、オンライン方法の紹介

◆リフレクションシートより



オンライン授業設計の行い方、LMS(グレクサ)を活用した授業方法や展開方法など従来の授業に付加して充実できる内容であった。これからもICTの推進をして教育改善をしていきたいと感じた。

### 第2回

◆日程:令和4年5月24日(火)

◆参加者:ユマニテク短期大学教職員(22名)及び非常勤講師(11名)学園関係者(5名)

◆開催方法:対面、オンデマンド

◆研修内容

講師:中京大学名誉教授 杉江修治氏

内容:「大学教育における協同学習について~講義型アクティブラーニング授業を考える~」



◆リフレクションシートより

講師の先生のお話を聞いてこれまでの研修会で経験してきたアクティブラーニングとはちがった概念であることがわかった。例えば机をコの字型に並べるとか、グループディスカッションをするだけでは不十分で、内容に即した柔軟な授業設計こそ大切と感じた。



### 第3回

◆日程:令和4年8月11日(木・祝) 13:30~16:30

◆参加者:ユマニテク短期大学教職員及び非常勤講師

◆開催方法:対面・オンデマンド

※本研修は、ユマニテク教育研究所主催の「第5回ユマニテク教育フォーラム」へ参加する形態の研修会となる

◆研修内容

①講師:中西良文氏(三重大学教授)

内容「アクティブ『ラーニング』の質を高めるために」

②講師:内海博介氏(認定NPO法人「カタリバ」)

内容:「カタリバ」の実践発表とフロアディスカッション



◆リフレクションシートより

教員はただ知識を伝えるだけでなく、学習の仕組み(学習の方略)を見出し、学生へ伝えていくことが必要であることを学びました。授業を行う上で学ぶこと(覚えること)に苦手意識をもっている学生を見かけた際には、知識のつながりが理解できていないことに注視していくことを心がけたい。

### 第4回

◆日程:令和4年8月23日(火) 14:00~16:00

◆参加者:短大教職員、非常勤講師、本部関係者、高大連携高校教員

◆開催方法:対面・オンデマンド

◆研修内容

講師:小山英樹氏(対話教育研究所所長・(一社)日本教育メソッド研究機構代表理事)

内容:演題:「学生・保護者との信頼関係を築く対話のあり方」



◆リフレクションシートより

楽しい、話やすく、明るい雰囲気研修の場にあつという間になっており、驚きました。見えているのに見えていないことなど多くの気づきがあり、日常を振り返りたいと思いました。教育的なコミュニケーションだけでなく家庭や職場の中でも応用できるものと感じた。

## 第5回

◆日程:令和5年1月31日(火) 17:30~18:45

◆参加者:ユマニテク短期大学教職員

◆開催方法:対面、オンデマンド視聴

◆研修内容

講師:伊藤喬治 氏(ユマニテク短期大学 講師)

内容:今後のユマニテク短期大学のICT教育推進の方法について(グレクサ廃止にともなう office365 の使い方、授業活用方法など)

◆リフレクションシートより



教職員間での情報共有や資料作成にとっても便利であることがわかりました。積極的に活用していきたいです。

まずは触ってやってみるということが大事だと思いました。やってみようの部分がとても分かりやすく工夫されて解説いただいていると感じました。組織全員が使えることで、業務、授業のインフラになっていだろうなと思いました。

Teams を使用したことがなかったのですが、基礎から丁寧に教えて頂けて、大変ありがたい研修でした。